第６４号　２０１１年３月２０日発行

都高Ｐ連会報

発行 ： 東京都公立高等学校 PTA 連合会(都高P連)
編集 ： 都高P連

事務局 ： 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 4-29-10 田丸ビル 205 号
TEL ： 03－5941－5067　FAX ： 03－5941－5068

東日本大震災 ～都立高の対応は～

3 月 11 日に発生しました大震災により、
亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。
また、被災された地域の皆さま、
その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

11 日、都立高校は帰宅困難者の避難場所として
解放されました。
その他、さまざまな対応がなされたことを記録として
留めておきたいと考えました。
寄せられた声を紹介いたします。

豊島高校

帰宅出来ない生徒 55 人を学校に泊まらせ、学校に常備してある非常用毛布と非常食でしのぎました。

12 日午前 10 時に帰宅完了。

12 日の卒業式を 13 日に延期。

12 日に行われていたら、夕方から祝う会を予定していたサンシャインが、地震の被害で休館になり、祝う会は中止になりました。

学校の建物被害はありません。

練馬工業高校

地震発生後一時校庭に生徒を避難させ、その後帰宅可能な生徒を送り出し、46 名と教員何名かが学校宿泊。翌朝帰宅させたそうです。

古い校舎なので１階玄関横渡り通路上より多少外壁が崩れて２階の職員室からＢ棟に向かう渡り通路は亀裂が生じたようです。

農芸高校

帰宅困難者の避難場所(毛布配布)。卒業式延期(12 日→13 日)。生徒 12 名、教職員 35 名学校宿泊。

帰りたい生徒がいるかもしれないと思い、車で学校へ向かったが、渋滞で到着が 23 時だったので、生徒は「もう寝かした(校長)」という事で、そのまま家へ帰って来ました。役立たず(笑)。

田柄高校

体育館と校舎棟を結ぶ渡り廊下の接合部分が一部遊離した。構造上、問題ないと都から連絡があり、通行可能とする予定です。教室等の壁面に亀裂。

ガラス棚が倒れてガラスの破損が数ヶ所あります。

3 月 11 日は教員が 12 名宿泊。生徒が三年生 6 名宿泊しました。

飛鳥高校

当日は午前中卒業式で、夕方から学校近くの会場で卒業を祝う会を予定していたのですが、残念ながら中止いたしました。

学校の建物は大丈夫でしたが、帰宅出来ない生徒が 50 名位学校に泊まりました。

文京高校

特に、被害はありませんでした。

14 日は、一部公共交通機関の運休により自宅学習となりましたが、15 日からは 9 時 30 分 12 時 30 分まで、時間割にある授業を実施したそうです。

小石川高校

14～16 日は休校となり、17 日からまず午前授業が再開されました。

15 日卒業式は 23 日に延期になりました。

学校ではＰＴＡ加入の「ケータイ連絡網」が活用されています。地震のあった 11 日は 3～4 時間遅れの着信もありましたが…。

当日夜は備えの乾パン支給、保護者が迎えにいけず泊まりました。生徒には毛布配布。翌朝は、家庭科先生ほかに備蓄米と缶詰(たぶん)を調理していただき、お粥がふるまわれたそうです。帰宅難民受入れについては把握していませんが、(不忍通りに面している)所在地と時間帯からいって通過する人が多かったかと…。東京は電車が全て止まって大混乱。道路を含めライフラインが生きていたので冷静にいられましたが。むしろ今がたいへんです…。

～ 目次 ～

P1-4　東日本大震災　～都立高の対応は～
P5　ＰＴＡリーダー研修会
P6　地区からの発信／輝く高校生
P7　キャリア教育と人材バンクにご協力ください！
第 23 回 東京地区大会の案内
新事務所のご案内

駒場高校

14、15 日は自宅待機、16 日は 9 時～12 時のみの授業で帰ってきました。
そして、17 日は、また自宅待機となりました。

鷺宮高校

地震発生時は２学年部主催の沖縄舞踊エイサー鑑賞会の最中でした。生徒は保護者に迎えに来てもらって帰宅となりましたが、交通機関の乱れで保護者が迎えに来られない生徒は泊まりになりました。約 70 名が宿泊したようです。この日は避難場所としても学校を開放しましたが、帰宅困難者等が実際に使用したかどうかは不明です。

エイサー鑑賞会に来た保護者も帰宅の足がなくなり徒歩で 3 時間かけて帰宅した方もいました。

週明けの月曜日から水曜日は在校生は休校となりました。卒業生は 15 日に卒業予行等で登校しました。

鷺宮高校は改築中で体育館完成が 4 月以降になってしまったので、卒業式を本来 3 月 10 日から 3 月 16 日に変更し、練馬文化センターで実施することとなっていましたが、練馬文化センターが電力事情により 3 月のイベントを全てキャンセルしたため、卒業式を延期することとしました。

会場の確保が問題でしたが、3 月 20 日（日）に武蔵丘高校体育館を貸していただけることとなり、武蔵丘高校で卒業式を迎えます。

また卒業対策委員会が企画していた「卒業を祝う会」は、会場が練馬文化センターということで例年とは異なる事情を例年の数倍の時間をかけたメンバーの努力で解決し、全ての準備を整えていましたが、中止することとなり、その予算を被災地への義援金とする方向で検討中です。

また新入生召集日も練馬文化センターで実施する予定でしたが、これも中止となりました。

ＰＴＡの新入会員募集の説明は入学式のみとなります。その入学式も練馬文化センターで実施する予定ですが、借りられなくなった場合を想定して学校側が他校使用の可能性を検討中です。

翔陽高校

大きな地震のあった 3 月 11 日は、第 4 期生卒業式の翌日でした。学校には帰宅できない生徒 13 名と、教職員 17 名が宿泊されました。最寄の駅まで行って、電車が動いておらず途方にくれている生徒を探しに先生方が駅周辺に見回りに行ったり、夜遅く、ＰＴＡ役員が学校に差し入れを持って訪問し、深夜に動き出した京王線で帰宅可能な先生を駅まで送ったりしました。

学校近くのコンビニ（ファミリーマート）からは、生徒たちが帰宅できずに学校に泊まっていることがわかると、夜、食料の差し入れをして頂き、また翌朝には、校内でパン販売をお願いしているファリーヌより、朝食を提供して頂きました。生徒も先生方も、大変喜んでいたとのことです。

翌朝、電車が動き出すまで、余震の中、先生、生徒は学校で寒い夜をすごしていましたが、12 日（土）午後には全員が無事帰宅しました。

武蔵丘高校

被害はありませんでした。
17 日と 18 日は、臨時休校にしました。
卒業式は 19 日に延期されました。

板橋高校

一棟と二棟の間の渡り廊下にずれが生じています。部室棟に一部亀裂が見られます。その他、細かいところを調査中です。

当日、学校解放されましたが、一般の方々は来られず。卒業生 3 名が家に帰れないため学校に戻り、電車が動き始めるまで滞在しました。

大泉高校

大泉高校の卒業式は 1 日延期になり、時間も午後に変更され、挙行されました!!

卒業式終了後は『東京一帯に停電のおそれ！』と学校から放送が入り、卒業生たちは、友達や後輩と別れを惜しむ間もなく下校させられてしまいました。

さて、学校の被害ですが、建増した校舎の繋ぎ目に亀裂が入ったそうです。ＰＴＡが使っている部屋のキャビネット上段が落下し、中身が散乱していました。誰もいなくて良かったです。机の引き出しも開いて、印刷機が移動していました。

五日市高校

停電の中、定時制の卒業式が挙行されました。

井草高校

3 月 19 日、地震で延期になった卒業式が行われました。体育館が一部損壊したので、視聴覚室で２クラスずつ３交代で行いました。校長先生の感動的なお話を３度も聞くことができました。

その後、卒業生全員がテニスコートに集まり、歌をうたい、送辞・答辞と続きました。

なかなか経験できない卒業式になったのではないでしょうか！

地震当日は、帰れなくなった生徒数名と校長先生を含む先生数名が学校に一泊したそうです。

野津田高校

体育館ステージの天井の梁のコンクリートが落下（人間の頭くらいのコンクリ片がいくつか）。

現在、業者に安全確認及び復旧作業をしてもらっているところ。

校舎と体育棟への渡り廊下の繋ぎ目が破損。これは、わざとゆるく繋ぐことで建物がヨジれ倒れないようにするため予想の範囲内の破損であったと説明ありました。

※只今体育館が使用不可のため 3 月 24 日（木）に予定していた新入生指導日の延期が決定しています。今後また体育館で行う行事が変更になる可能性あり。（セイフティー教室⇒別のものに変える可能性。終了式⇒全ての学年が集まれる場所がないため、またグラウンドでは寒いので…生徒が教室にて放送を聞くという形にする可能性が高いとのこと）

東村山高校

震災日当日ですが、数名の生徒が学校で宿泊、翌日電車が動いてから、無事帰宅しました。

また、校長先生は、11 日から学校と近隣のホテルに宿泊しています。学校は 16 日から休校となっていましたが、17 日からは先生方が学校に来て、今後の対応を含め、意欲的に活動しています。

東大和南高校

当日は特に被害はありませんでしたが、20 時 30 分現在、全ての家庭と連絡が取れお迎え待ちの状態でした（18 名）。

全ての生徒が方面別に保護者の車に乗り合わせて帰宅できました。

12 日（土）の卒業式が 13 日（日）に延期になり無事に終了しました。

翌日の 14 日は計画停電の影響で休校となりました。

大山高校

地震当日時、学校運営委員会のため大山高校にいた会長は帰宅困難者となり、7 時間かかって夜の 11 時 30 分に家にたどり着きました。

生徒達も女子５人程、帰宅困難のため学校に泊まったようです。学校の建物には被害はありませんでしたが、地震時、屋上のプールの水がこぼれたと聞きました。月曜日からの登校は時間をずらすなどの措置がとられていました。実は先生方が一番大変で、副校長はご自宅が舞浜(ディズニーランドの最寄り駅)のため、液状化で壁が傾き、水とガスは止まっているそうです。

北園高校

美術室の棚の備品が壊れました。

東京都からの要請で帰宅困難者に武道場を開放しました。40 人弱の方々が宿泊されました。電気コンロ・毛布・水や乾パンなどの提供をされたそうです。

又、帰宅出来なかった１年生の子ども達が 30 人弱やはり学校の和室・保健室に宿泊し、可愛い子ども達の食事の買い出しに、校長先生がいらっしゃいました(３年生は８日に卒業しました)。

更に大変だったのは修学旅行で沖縄に行っていた２年生。11 日 帰宅予定でしたが、空港に集合した後地震。飛行機の中で待機しましたが飛行中止になり、日付が代わった真夜中にホテルへ移動。ホテル探し・値引き交渉・送迎バスチャーター・子ども達の体調管理、そして翌日の飛行機の手配。副校長先生を始め先生方苦心の甲斐あり、一行およそ 330 名は怪我・病気もなく２便に別れて夕方前には元気に帰って参りました。11 日に学校に宿泊した先生方は、子ども達の携帯で連絡がとれなかった修学旅行生のお宅に、３時間以上かけて１軒１軒お電話で無事を知らせました。

清瀬高校

翌日が卒業式の予定で、2 年生と一緒にリハーサルを行ない 3 年生が残って練習している最中に地震がおきました。夏に耐震工事が終了していたおかげで、建物に被害はなく生徒も誰も怪我をすることはありませんでした。校庭では、サッカー、野球、ソフトテニス等の部活が活動中でしたが、全く気がつかずに練習し周りが騒ぎだして初めて避難したそうで部活の活発な清瀬らしいと、笑ってしまいました。

昨年度から、一斉メールを取り入れ、今年再三副校長に学校からの発信に使用して欲しい旨を伝え、やっと１、2 度使ってくれていました。そこに、地震だったため頻繁に現状を発信してくれていました。

といっても、娘の携帯には受信するのに私のドコモの携帯はずっと圏外のままで、役に立たなかったのですが。毎朝、停電のことも電車のこともあり、7 時の時点で授業をやるか発信してくれており、大変役にたっています。地震当日、学校に待機命令が出たため、6 時半の時点で 180 名の生徒が学校にいました。

親が迎えに行ったりと最終的には 40 名ほどの生徒が泊ったそうです。

一般の方が数人いらしたそうですが、西武線が早めに動きだしたので泊る方はいなかったそうです。卒業式は 19 日土曜に延期されました。無事に挙行されるといいのですが。

青井高校

本日学校にて理事会があり、校長のお話を聞いたところ、本校は水道管が破裂したそうです

怪我人は、無しでした。電車を使う生徒が帰宅できず、８名程学校に宿泊したそうです。そんな中、本校の生徒からの申し出で、募金をしようとの話があがっています。ＰＴＡからも、少ない額ですが、義援金を被災地に送ることになりました。

小川高校

★地震発生のその時・・・・

小川高校は 11 日の 14 時 46 分、３学年は卒業式の予行をしていました。地震が起きても生徒たちは騒ぎ出さなかったと校長先生から聞きました。

３学年は体育館で待機、グラウンドで部活中の生徒はグラウンド中央に集め、2 回目の余震の後、帰宅指示となりました。電車が動いていなくて帰宅できない生徒は学校に残っていましたが、同じ方向の先生と帰ったり、家族が迎えに来て何とか帰宅できたようです。この地震での小川高校の人的被害は「０」でした。

校舎は天井の一部が剥がれていたり、レンガの外階段にヒビが入っていたりという被害あり。

★卒業式延期！

地震のため、当初予定していた卒業式が 3 月 12 日（土）から 13 日（日）13：00 に延期となりました。

午前中に弱い地震がありましたが、式典は何事もなく終了しました。式典前に参列者全員で震災で亡くなられた方に黙とうをささげました。

町田高校

定期テストの最終日でした。

テストが終わって部活や放課後学校に残っていた生徒達は全員避難、交通機関が再開するまで学校に宿泊しました（宿泊人数は不明）。

定時制用の給食をいただき、食堂などで朝まで過ごし、保護者の迎えや自分たちで安全を確認の上帰宅。また本校は午後 9 時半頃から町田市の一時待機施設としても開放されました。

農業高校

午前のみの授業日程だったため、地震の時は部活中の生徒と教職員が残っていたそうです。

多摩地域の帰宅可能範囲の生徒は下校。都心寄り通学の生徒と教職員等 50 数名の方が、教室などを使い宿泊となりました。大きな混乱はなく、無事次の日には帰宅したそうです。

現在は、計画停電に合わせて休校措置を日によって行っている状況です。

町田の高校生、駅前募金活動　（読売新聞 2011. 3. 16 掲載）

「東日本巨大地震の被災者を支援しようと、町田市内に在住、在学している高校生有志が、小田急、ＪＲ町田駅前で募金活動をしている。学校の休みの日や放課後を利用し、当分の間続けるという。14 日から活動しているのは、同市内の都立山崎、町田、小川、成瀬高校などの約 60 人。奥秋季果代表（17）（日体荏原高校２年）は「地震報道を見て、今私たちにできることは募金活動と思った」と話している。寒空に響く高校生たちの「募金をお願いします」「被災者を励ましましょう」の呼びかけに、道行く人は「頑張ってね」と声をかけながら、募金していた。２日間で約 240 万円の善意が集まった。」

農業高校

生徒支援用にと文化祭のバザーの売り上げなどを毎年準備していますが、その中から義援金として 2 万 443 円を募金いたしました。

今後の課題

今回声を寄せてくれた学校はターミナルや大きな乗換駅にある学校ではなかった。しかし、多人数の帰宅難民を受け入れた都立校では、非常食・毛布が多量に必要となった。学校運営連絡協議会の際にしばしば話題に上るのが災害時の備蓄のことである。生徒分の毛布・非常食が用意されているものの、一般用の非常食や毛布は準備されてはいないとは伺っていた。しかし、避難者は温かい食事と毛布を期待してくる。もし、春休み中でなかったら、教職員が少ない時間帯や休日の発生だったら対応できただろうかとは、都立芝商業高校（港区）の副校長の言葉である。学校が帰宅難民にとって大事な場所になったことがよくわかったことで、課題が顕在化したといえる。今後、都高Ｐも考えていくべき点である。

（参考：読売新聞　教育ルネッサンス 2011. 3. 19）

平成 23 年 3 月 17 日

都高Ｐ連加盟校　ＰＴＡ会長　各位

東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会
会長　高橋多佳子

3 月 11 日午後　東北地方は大きな地震に見舞われました。加盟各校の皆様においても、ご自身やご親戚、知人に被災された方もいらっしゃるのではないでしょうか。お見舞い申し上げるとともに、被災地が一日も早く復興されて、穏やかな日々が戻ってきますようにと祈るばかりです。

大震災の罹災状況が明らかになるにつれ、これまで経験したことのない未曾有の大災害であったことがわかってまいりました。そして、被災した高校もある中で、学校が重要な避難所の一つとして、先生方、生徒が共に被災者の支援を行っている姿が日々報道されております。

昨年の夏の 60 回全国大会は、全国の会員のご支援・ご協力をいただいて成功させることができたことを忘れてはならないと思います。

今まさに、各単位ＰＴＡで支援に向けた動きが始まる中で、「都立富士高では年度末役員会で、今年度の未執行分の予算を、被災地の学校の支援の義援金に回すことを役員チームで検討している。都高Ｐには思いを同じにする都立高との取りまとめと、現地公立高との橋渡しをお願いしたい」とのお話をいただき、その思いに感銘いたしました。

同時に、全国高等学校ＰＴＡ連合会から案内が届きました。都高Ｐ連は全国高等学校ＰＴＡ連合会の取り組みに賛同し、連携して義援金の募集を開始します。

皆様の心からのご支援を取りまとめてまいりますのでご協力をお願いいたします。全国高等学校ＰＴＡ連合会からの「**義援金活動文書（趣意書）**」を右に掲載します。

都高Ｐ連への振込先については、決まり次第、速やかにＨＰ掲載し、お知らせします。

22 全高Ｐ連第336 号
平成23 年3 月15 日

各都道府県市高等学校ＰＴＡ連合会 会長 殿

（社）全国高等学校ＰＴＡ連合会
会 長 髙 間 専 逸
（公印省略）

東日本大震災害義援金の募集活動について（趣意書）

平素から、本連合会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、すでにご存知のように、3 月11 日午後2 時45 分ころ、東北地方太平洋沿岸を震源とするマグニチュード9.0 という千年に1 度の大規模な地震が発生し、この地震に伴う巨大津波が太平洋沿岸を襲いました。この災害によって多くの方が被災され、亡くなられた方、避難された方の数は史上希にみる状況です。また、家屋、公共施設をはじめ、自治体そのものが流され、そして多くの市町村が壊滅状態になりました。

全高Ｐ連として、このような災害に遭われた高等学校、高校生及び保護者、教育関係機関に対し心からお見舞い申し上げます。

こうした状況を鑑みて、全高Ｐ連は広く義援金を募り、東北地区を中心とした高等学校ＰＴＡ連合会に贈呈し、教育支援のため活用していただくよう義援金の募集を決定しました。本趣意書にご賛同いただいて、全高Ｐ連の義援金募集活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

尚、すでに、県によっては独自の活動に取り組んでいる所もあると思います。その場合は柔軟にご対応ください。

義援金収集方法

1. 各都道府県市高等学校ＰＴＡ連合会で集約→全高Ｐ連の義援金口座
   または、単位ＰＴＡから直接→全高Ｐ連の義援金口座
2. 締め切り 平成２３年５月２０日（金）
3. 各単Ｐに通知される場合は、各都道府県市高Ｐ連事務局にお任せ致します。

平成22年度東京都教育委員会委託事業

高等学校ＰＴＡリーダー研修会

講　師　宮木いっぺい先生

平成22年12月10日（金）　国立オリンピック記念青少年記念センター

今回のリーダー研修会ではテーマを**「家庭・学校・地域・社会との連携でＰＴＡのできることを見つけよう～ＰＴＡが元気になると子供も学校も元気になる～」**とし、講師に宮木いっぺい氏をお迎えして「講演」・「参加者とのディスカッション」を行いました。

宮木いっぺい先生

宮木氏には昨年夏に開催された第六〇回全国大会東京大会の第一分科会「学校教育とＰＴＡ」に助言者としてご出席いただき、地域づくりやＮＧＯでの豊富なご経験からＰＴＡの担う役割とその可能性について適切なアドバイスを頂戴しました。

その際、元気に活動される方々や様々な活動のメッセージ等に触れ、ＰＴＡ活動に大きな可能性を感じたそうです。ものすごく色々な事ができるぞ、と。そこから、今日のこの講演のお話があるのだということを初めにお話しされました。

講　演

■地域づくり、学校づくり、人づくり

地域づくり、学校づくり、人づくりは密接な関係にある。地域づくりや学校作りのプロセスの中でいろいろな立場、いろいろな年齢の方々と関わることで子ども達は短期間で本当に驚くほど成長をとげる。子ども達がどれだけ伸びるかはどれだけ出会いの場を作るかにかかっている。

■ＰＴＡの役割について

ＰＴＡの役割は子ども達が伸びるために地域・学校の中で様々な出会いの場をコーディネートすることである。とにかく意識的に地域と学校と子どもを繋ぐ出会いの場作りを行うことが大切である。

■運営に際して大切な三要素

①地域と関わる場合地域が本当に喜ぶことは何なのかをまず見極めること。そして目の前にある課題に積極的に対応していくこと。

②思いやりのある場作りをすること。皆忙しい中での活動だが、お互いが思い合うだけでチームがうまく回りいい成果を出せる。また、会議が楽しくなる工夫が必要。そして、出来ない理由ではなくできる方法を皆で考える前向きな雰囲気をつくることが大切である。

③お互いの考えをリスペクトすること。どの団体でも求心力を持つためには、目的の共有が必要だが、いろいろな考えを持つ人が存在する。お互いの考えをリスペクトする気持ちがあればそこから先はうまく回ってゆく。これは子ども達にも何回となく発信しつづけるべき。そうすることで、子ども達は間違いなく助け合う集団になってくる。

講演会の様子

講演の最後に宮木氏は、地域づくり、人づくり、学校づくりの主役にＰＴＡの皆さんになっていただきたいということ、企画をお知らせいただければ学生を連れて出向いていきますのでいろいろとお声掛けいただけたらうれしいということをおっしゃいました。

参加者とのディスカッション

地域に関わる活動を行っている高校から活動内容が発表されました。

防災訓練参加、ベンチを作り地元の商店街に寄付、地域の清掃、小中学校に野菜の作り方を教えるなどです。

地域のニーズは千差万別なので活動をする場合は地域の皆さんとともに考えていくのも良いとのことでした。

質疑応答

質問者・意見が活発になる会議の人数というのはあるのでしょうか。

宮木氏・・一〇人以下だと双方向性があり意見が活発になります。皆が打ち解けるための仕組みとして最初にゲームをしたり、あだ名で呼び合うなど、工夫があっても良いのではないでしょうか。

質問をする聴講者

【宮木いっぺい氏プロフィール】

東京都文京区出身
慶応義塾大学経済学部、同大学院経済学研究科修士課程、博士課程。
現在、法政大学大学院政策創造研究科准教授。大学では講義・研究だけでなく産官学連携の地域プロジェクトに携わり全国を駆け回っている。
一九九五年より、ＧＮＣＪａｐａｎ（ＮＧＯ）代表理事。毎年モンゴルでエコ教室と森づくりを中心とした活動を続けている

地区からの発信

西部北地区 ボウリング大会

今までも、ソフトボール大会やバレーボール大会を通じて、地区の懇親をはかってきた西部北地区だが、もっと手軽で準備も簡単なものは無いかと、地区の役員会で話が出ていました。そこで試験的に二月二十七日にボウリング大会を、東大和市駅前のビッグボックスで開催しました。当日は、十二校から二十四名の参加となり、マイボール・マイシューズ持参でのぞむ役員もいました。

チームは各校シャッフルで、いろいろな学校のPTA役員との混成チームで二ゲームを戦いました。ストライク・スペアが出ればハイタッチで盛り上がり、ガーターが出ればみんなで「あー」と声を上げ、上手下手関係なく盛り上がりました。ゲーム終了後は近くの中華料理店で懇親会、成績発表でまた、話に花が咲きました。

普段はなかなか交流をもたない役員達とも話が弾み、有意義な情報交換の場に。今後、調整も必要ですが、地区の懇親会としてはまずまずの成果があったと手ごたえを感じた一日でした。

西部南地区 バスツアー

大会の直前まで一人ひとりが大会テーマと向き合い、来ていただいた方に「参加して良かった！」と心に残る大会にしようと必死で取り組んだ東京大会の成功は全員の総力で成し得たものと自負しています。

そんな仲間たちと「このまま別れるのは寂しすぎるよね」と結成された西部南地区二十一年度会長会「なむら組」は、二十二年度会長会と合同にてバス研修ツアーに行ってきました。

遊びの会にするには勿体無く、南多摩高校PTAOBで、ゼネコン界初の女性現場副所長の須田久美子さんの案内で、「圏央道・裏高尾橋梁工事現場」見学を実施。自然を守るための工事の工夫やゼネコン界で働く女性の取組などを学び、参加者全員がヘルメット、作業衣、軍手を着用し開通前の橋梁を歩きました。橋梁から見える新宿方面の景色はとても素晴らしかったです。

その後、一行は山梨方面に向かい、「あんぽ柿手作り体験」。ここでは全員が普段見せたことのない表情と手つきで柿の皮を剥いたり、干したりの作業。その後、あんぽ柿を使用したスイーツ作りを地元の若い農家の方にご指導をいただきました。二週間後に完成した柿を食べましたが本当に甘くて美味しかったです。

バスツアーの醍醐味は共に時間を共有できること。見学や体験の楽しさは勿論ですが、とにかくずっとお喋りができること。バスの中も歩いている時も話の花で満開でした。

単P会長から地区の会長会の輪へ。それが東京大会を経て太い絆となりました。そしてこの絆は次年度へとバトンタッチ。バスツアーを通してわかったこと。それは「全員が子ども大好き。親として今を生きていることに喜び溢れている」そして「子どもを通して夢をいっぱい見ている」こと。

大好きな仲間たちへ、また夢の実現に向け一緒に行きましょう。さあ次の目的地はどこにしましょうか。

輝く高校生

片倉高等学校

吹奏楽部は、現在九十二名で、"Let's Groove!"(みんなで一緒にノリノリで楽しもうよ！)を合言葉に、毎日楽しく練習に励んでいます。地域・社会に貢献するチャリティーコンサートの出演や定期演奏会の開催のほかに、毎年各種の全国大会に挑戦しています。

最大の目標である全日本吹奏楽コンクール全国大会は、昭和十五年から開催されている歴史ある大会です。近年は吹奏楽の甲子園とも言われる高校生憧れの舞台、普門館で行われています。予選参加一五三九校中全国大会に進めるのは二十九校と狭き門の中、東京都代表として出場し、2年連続金賞をいただくことができました。

今年度は他に、日本管楽合奏コンテストで「最優秀賞」「YAMAHA賞」、全日本高等学校吹奏楽大会in横浜で「連盟会長賞」特別賞の「MALTA賞」を受賞し、三つの全国大会で良い成績を修める事ができました。

また、今年の五月四日、五日に片倉高校最大のイベントである定期演奏会が行われます。詳細はhttp://www.yamamomonokai.comをご参照ください。

今後の全国大会出場予定は、以下の通りです。

○全日本アンサンブルコンテスト(鹿児島)
三月十九日(土)
金管八重奏

○全日本高等学校選抜吹奏楽大会(浜松)
三月二十七日(日)

野津田高等学校

○トランポリン部

都立高校では、唯一の部活動です。トランポリン協会の指導者を招き、ハイレベルな指導を受け、部活動をしています。

◆実績
三年生女子
七月　インドパシフィック大会
10位入賞
十一月　フランス世界トランポリン年齢別(十七～十八)選手権
ダブルミニ六位入賞

○手話部

福祉科がある都立学校ということもあり部員も多く熱心に活動しています。また入学式や卒業式には壇上にて手話通訳を行っています。(司会進行の通訳はもとより、校長先生や来賓方の祝辞、校歌や全員合唱等も通訳しています！)

◆実績
関東第二ブロック授賞式
十一月二十日(土)
第十四回ボランティアスピリット賞　受賞

キャリア教育と人材バンクにご協力ください！

先日、就職が決まった東大生に話を聞いた。百社近く受け、最終的に地元の金融機関に決めたとのこと。東大生でさえこれほどの数の会社を受け、苦戦を強いられていることにとても驚いた。そして、そんな矢先、二月末、就活帰りの大学生が山口県で引き起こしたバス横転事故のニュース。詳細は不明だが、今の子どもたちは、我々の想像以上に厳しい状況に晒されているのかもしれない。

都高Ｐでは、この三年間キャリア教育に取組んできた。近年の厳しい就職状況の中で、次世代の担い手をどう育てるかは喫急の課題とし、平成二十二年一月に女子栄養大学の染谷忠彦先生、七月に独立行政法人労働政策研究研修機構の下村英雄先生、八月の全国大会で、立教大学の小島貴子先生に講演いただいた。

染谷先生は、大学で長年学生と接する中で、二十年前から学生が変化してきたことに気づかれ、大学に入るまでの子どもと保護者の関わり方の変化が原因と指摘。子どもの進路決定に保護者が大きな影響力を与えており保護者の古い大学観を変えるには、まず大学を訪ねて現状の大学をしっかり知る必要があると述べられた。

下村先生は、心理学の観点から、現代は物事の変化が速く多様になってきた。例えれば、昔は「汽車の時代」であり、汽車に乗せれば安心できたが、今は「自動車の時代」であり、自動車に乗せ、運転の仕方まで学ばせる必要があると指摘。そして、キャリア教育の基本は家庭にあり、「あなたがいて良かった」との一言が、子どもの全面的受容となり、職業意識の形成に良い影響を与える。また「うまくやれる」と思った子ほど就職活動の結果が良いとのこと。

キャリア教育(ガイダンス)は、子どもをどこか旅行に出すと捉え、「どこに行きたいか」自分で考えさせ、行き先が決まり、「どうすれば行ける？」「準備は何が必要？」と聞いてきたら答える。親は、あくまでも子どもの側方支援と述べられた。

小島先生は、キャリア教育を轍に例え、「自分はどっちの方向に、どこまで来たのか？」「これからどこに向かうのか？」は、轍を振り返ることで初めてわかる。また、日々の積み重ねが、未来のキャリアを作ると述べ、就職後成長するのは自立している子で、自立が自信に繋がり伸びて行くと指摘。人生八十年を二十四時間に例えるなら、二十歳は午前六時、それまでは夢見る時間として、子どもたちにたくさん夢を見させて、その夢をたくさんの人に聞いて貰うことが大切と述べられた。

近年の就職難は、千名以上の有名企業に偏り、高い技術はあっても名前が知られていない中小企業の就職口は余っているとのこと。子どもたちが自分の夢を見つけ、そこにフォーカスした就職活動をするならば、今のような状況には陥っていないのかもしれない。キャリア教育は、まず家庭にあり、学校と一体となって進める必要がある。

皆さんの社会経験、苦労、楽しさを子どもたちに話すことが、子どもたちに夢を持たせ、夢を実現させる側方支援に繋がります。都高Ｐのキャリア教育人材バンクに、ご登録をお待ちしております。ご協力ください。

今後のスケジュール

２月２１日(月)
　荻窪事務所の営業開始
４月２６日(火)
　第５回運営委員会
５月１９日(木)
　第３回全都会長会
５月２４日(火)
　第６回運営委員会
６月１１日(土)
　定期総会

第２３回 東京地区大会のご案内

今年度は、**『高校生と食～いのち・食の未来を考える～』**をテーマに、東京地区大会を開催いたします。講師には、食育の第一人者である服部幸應先生をお招きし、基調講演とディスカッションを行います。

是非、皆様にご参加頂きますようご案内いたします。

日時　平成二十三年七月九日(土)
　午後一時三十分～

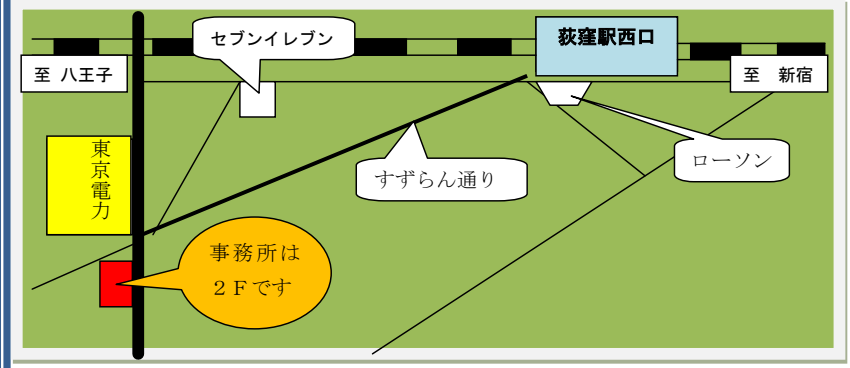
会場　星陵会館
　(日比谷高校隣)

アクセス
　地下鉄永田町駅
　徒歩３分

講師　服部幸應先生
　服部栄養専門学校校長
　医学博士

服部幸應先生

東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会　新事務所のご案内



住所
　〒167-0052
　東京都杉並区南荻窪 4-29-10 田丸ビル 205
　TEL　03(5941)5067
　FAX　03(5941)5068

アクセス
　荻窪駅から徒歩３分

e-mail　tokopren@gol.com
URL　http://www.tokopren.com/

AIUの高校生総合保障制度

（こども総合保険）

私共AIUは、日本で営業を開始して早や64年が経ちました。
学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上ものあいだ積極的に取り組み、
おかげさまで全国22,000校以上の学校・PTAにて
学生総合保障制度をご採用いただいております。

社会貢献事業「高校生国際交流プログラム」

AIU保険
CHARTIS
〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3新橋住友ビル6F

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。

再生プロジェクトを行っているパリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちをやって！」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を
少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。

MS&AD 三井住友海上
三井住友海上火災保険株式会社
www.ms-ins.com

細かいところでもほめられたい。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る
個人用自動車総合保険「ONE-Step」や
インターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した
新・海外旅行保険「off!（オフ）」など。
あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。
21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った
高品質の安心を力強く、ご提供します。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338　東京都新宿区西新宿1-26-1　TEL. 03（3349）3111
ホームページアドレス http://www.sompo-japan.co.jp

SJ05-12524（2006.3.1）

東京海上日動火災保険株式会社　http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/